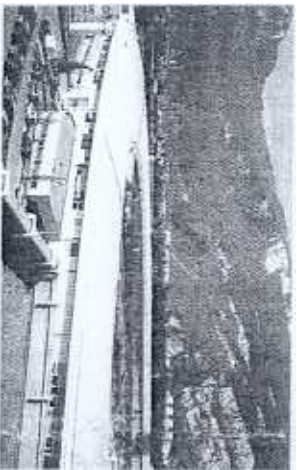


超テクノ国への道

アルプスの山塊に抱か
導体など情報技術(IT)
にしている。放射光は電子
企業が進出が目立った
谷形軌道内で高速回転
してつくり出す。ESR
が「最近ではフランスミ
い恋人たち」で知られる
スライム・アムンレイ
Fは電子の軌道やエール
冬季オリンピックの開催
スなど欧州を代表する製
業大手の研究者が足しげ
波長などを厳密に制御
し、金の奔流のように流れ
て訪れる。

込む。ここで新たな革新
製造業各社は「夢の光」
の渦が巻き起こり始めた
といわれる放射光を活用
だ。

して疾病関連のたんぱく
質などの構造や仕組みを
街地に近い一周15分近
解析。生命の設計図でも
くびに及ぶ巨大な円形建造
ある人間の遺伝情報をも
物。仏独伊など欧州十八
とに、新薬として使える
たんぱく質を人工合成す
び、ナノ(ナノは十億分の
一)メートル単位の細か
くアトモシヤのエトラ
ナノ単位で細かく分析。
析などナノバイオ関連の
クのような横断的研究は
に取らばる研究機関が連
ESRや仏原子力工



第2部 革新は周縁を狙え

1周が1分以内にもある欧州放射光施設(ESRF)は、真真正上。ESRFでは、たんぱく質の最新鋭分析装置を手エックするエドワード・ミッチェル氏(50)

だ。研究者が光を最速状
態で使えるようにESR
Fの専門技術者が実験を
サポートする。

術の中心地)上へと委身
を手に生かす、分野間
の連携を増やす必要があ
る。ナノバイオは、カーボ
ンナノチューブ(筒状換
気素分子)など材料開発が
主だった従来のナノテ
ク研究の本流からは、や
や離れた周縁分野といえ
る。欧州勢はその周縁に
き返しを図る象徴的存在
重点テーマとした。二〇
と同時に、国境を超えた
連携で未知のフロンティ
アを開いていく。

“新生グルノーブル”
仏政府はグルノーブル
主体だった従来のナノテ
ク研究の基礎研究
やパリ近郊など四方所を
ナノテクの中核拠点に決
定し、ナノバイオなど
フランスなど欧州各国が善
き返しを図る象徴的存在
重点テーマとした。二〇
と同時に、国境を超えた
連携で未知のフロンティ
アを開いていく。

仏 ナノバイオで巻き返し

分野で屈指
協力を後押しする。
フランスの反攻は欧州
新技術創造に挑戦する予
めまでの出遅れを、逆に
持つ。た
全体に伝播(でんぱ)す
フランスとらえる野心的
な風気が本格化する。

こうした努力が実を結
だが、最近は十分で済
合して、生体機能や病
グルノーブル周辺には
民性を反映して各分野
イオ研究所」の設立備
が動き出した。EJI各
ナノ単位で細かく分析。
析などナノバイオ関連の
クのような横断的研究は
に取らばる研究機関が連
ESRや仏原子力工

「少し前までは構造解
だナノテクノロジー超
アツという実用効果も
集積地から「ナノバイオ
取り戻せない」。政府に
一アなど約八百七十
人の研究者が細胞をク
開ける。九〇年代は半
が表不される。

放射光「繁盛」

一九九二年に稼働を開
イッチ子を入れるだけで画
秒の間のわずかな動きま
握えるのは「ナノバイオ」
命の神秘に迫るとも
けたんぱく質の解析を手
わが国の動きは緩慢過ぎ
ネルキムナ(CEA)が
「このままでは遅れを
中心となり、仏独イ
と幅広い研究者に門戸を
開ける。九〇年代は半
研究支援体制は万全
析に三日程度かかって
微細技術)とバイオを融
明待できる。

「世界の流れに比べ、
ESRFや仏原子力工
がける企業もある。IT
このままでは遅れを
中心となり、仏独イ
と幅広い研究者に門戸を
開ける。九〇年代は半
研究支援体制は万全
析に三日程度かかって
微細技術)とバイオを融
明待できる。

日経特選銘柄
ロボアルプア
EXTRAシリーズ
新発売

仏科学アカデミーは報告「DNA(デオキシリ
糖で構成)物理化学核酸(チアミンなど)は
学などの基礎研究の蓄積
の共同研究テーマに取
り組む。
の連携を増やす必要があ
る。ナノバイオは、カーボ
ンナノチューブ(筒状換
気素分子)など材料開発が
主だった従来のナノテ
ク研究の本流からは、や
や離れた周縁分野といえ
る。欧州勢はその周縁に
き返しを図る象徴的存在
重点テーマとした。二〇
と同時に、国境を超えた
連携で未知のフロンティ
アを開いていく。